

福島市教育委員会定例会会議録	
1 場 所	福島市役所複合棟 3階 313会議室
2 日 時	令和8年4月2日 午前10時00分
3 出席者	
教育長 佐藤秀美 委員 立花由里子 委員 宗形潤子	
4 欠席した委員	
教育長職務代理者 渡辺慎太郎 委員 丹野友幸	
5 説明のため出席した職員	
教育部長 丹治典夫 教育部次長兼教育総務課長 佐藤敏和	
学校教育課長 芳賀沼 彰 教育施設管理課長 半澤一隆	
教育研修課長 齋藤亮一 生涯学習課長 目黒貴裕	
中央学習センター館長 齋藤善也 図書館長 薮内雄治	
教育総務課課長補佐兼庶務係長 松川利春	
6 議事内容及び経過	
(1) 開 会	午前10時00分
(2) 日 程	本日1日間
(3) 署名人の決定	委員 立花委員
	委員 宗形委員
(4) 記録係	教育総務課庶務係主査 渡邊貴博

1 議事	
会議冒頭、その他 本市におけるいじめ重大事態等の現状については、個人情報等を含むことから関係職員だけで行い非公開とすることについて確認、全員の承認を得る。	
議案第28号 福島市学習センター運営審議会委員の委嘱について	
生涯学習課長（教育委員会定例会提出事項 P3～P5により説明）	
教育長	異議ないため本議案を原案のとおり承認する。
2 教育長報告事項	
① 令和8年3月市議会定例会議における質問及び答弁趣旨について	
教育部長（教育委員会定例会提出事項 別冊①により説明）	
立花委員	部活動の地域展開について、福島市は休日の部活動を学校から離して地域に展開しようという方向で考えていると思いますが、先日新潟市の教育行政に関わる方とお話しする機会があり、新潟市は完全に令和8年4月1日から部活動は完全に外部に出して、学校では行わないでくださいと決まりました。そうなった場合に先生方が休日に子どもたちが何をやっているのか全く分かりませんと言ってしまう。それはどうなんだろう。それは学校の教育活動の一環としての休日の部活動について、子どもたちは何をやっているか分からないと先生方が言ってしまうような状況になっていることについて、その方は反対と言っておりました。それをお伺いして、そうになってしまうことの危惧、心配がありまして、国

	からの方針ではありますが、福島市の子どもたちの部活動という
	ものが、休日は何をやっているか分からない。先程現状部活未加
	入が既に１２％いると出ておりましたけれど、その子どもたち以
	外のところでも、休日は何も活動しないという子どもが増えてい
	くことも、どうなのかと思います。反対に平日の学校の部活動の
	充実というのはどのようになるのかという心配があります。先日
	の３月臨時定例教育委員会でもございましたが、安易に進めてい
	る訳ではないと思いますが、部活動の地域展開が大人の都合で進
	んでいるのではないかとこの心配がありますので、意見として言
	っておきたいと思います。
教育長	立花委員からございましたとおり、先日の３月臨時教育委員会でも
	もホットな議論をさせていただいた部分になります。
学校教育課長	３月臨時教育委員会でご説明させていただき、その後担当と協議
	する中で、部活動のそもそもの意味をどうするかということと、
	休日の過ごし方を委ねていく部分の良さと心配な部分、教員の中
	にも一定数部活動を一生懸命やりたいという者もいるところをど
	うしていくか。立花委員からお話しがございました、大人の都合
	になっていないか、大人が主語になっていないかということにつ
	いて、自分の反省もありますが、部活はみんなやりたいものだど
	信じ込んでおりました。子どもたちの意見を聞くと、半々くらい
	で、このくらいなのかと思ったところが本音です。そういったと
	ころを丁寧に聞き取って、子どもたちの意見をしっかり聞き取っ
	て、しっかりと確認したうえで進めていく。その一方で、今年度

	10月から週末は活動しない、部活としてはやらないというところに入っているので、そういったところは丁寧に子どもたちの意見に耳を傾けながら進めていきたいと思っております。
教育長	新潟市のように始めているところも全国ではありますが、福島市としては段階を踏みながら、そこでの課題などを改めて吸い上げて、時間をかけてやっていこうという方針でよろしいですか。
学校教育課長	そのとおりでございます。
宗形委員	2つございます。1つは学びの多様化学校について、白石市を訪問したとありますが、県内の棚倉町にもあります。棚倉町に行かない理由は規模的な問題、市と町の違いなのかどうか。もう一つは最初の質問のところで、積極的に学びを子どもに委ねている傾向がある。そのことが学力の高さに影響があるとありましたが、先生方の働き方改革のところに繋がっていると思っていて、時間を少なくすることだけではなく、福島市はやりがいのところも考えていると思っています。子ども委ねる、子どもが主語の授業を展開していくことが、子どもの幸せ先生方の幸せに凄く繋がってきていて、満足感というか子どもたちが自分たちで動き出すことに対する先生方の子どもたちに対する期待やモチベーションに凄く影響していると思うので、そのあたりは学力と実は繋がっている、絡んでいることは分かっているとは思いますが、そのあたりを意識的に子どもが主語の授業を構築していくことが実は先生方の働き方改革繋がっていくということを、やりがいのところに注目しているからこそ、メッセージとして伝えていく必要が

	あると思うので、今後どのように展開していくのか教えていただきたいと思います。
学校教育課長	1点目の学びの多様化学校の視察について、棚倉町も行ってみたいと思っております。立ち上がった当初にマスコミから福島市は知っているのか等を聞かれながら、我々も承知していなくて、中身はニュースなどでしか分からない状況でした。是非同じ県内で行っておりますので、見せていただいて、参考にさせていただきたいと思います。また白石市の方は、中央地区の件で関係性もありましたので、見させていただきました。2点目の学びを委ねるところと、働き方改革は色々な問題が混ざっている部分を感じているので、改めて拗れを解きほぐしながら、まず働き方改革というのは先生たちが楽をするためにやるのではない、子どもと向き合い、しっかりと準備をして良い授業をするためのもの。そうすることがやりがいにも繋がっていくということであるので、誤解があるのは学びを委ねる、例えば子どもの作品の添削をしない、それで働き方が楽になると捉えられてしまう、そういうことをやろうとしている訳ではないので、そういったところは我々もしっかりと勉強しながら、各学校ともしっかりと対話をしながら進めていきたいと思っております。今年度も学校訪問等を通して、そういったことを一人一人の教員とも向き合いながら、より充実した学びなるよう対応したいと思っております。
教育長	棚倉町は分教室のような形での学びの多様化学校だったのでしょうか。

宗形委員	私も行きたいと思っています。棚倉町の教育長さんと知り合いなので聞いてみると、いっぱい過ぎて断っているという時期があつて、これ以上受け入れられないと聞いていて、時期を見てお尋ねしてみようかと思っています。視察が多いという話を聞いていますが、詳しいところは分かっていません。行った方からは凄く良かったと聞いています。
教育長	分教室として設置している在り方もあれば、白石きぼう学園のよ うに1つの学校として、小中一貫としてやっているというところ もありますので、我々も棚倉町を含め色々な調査研究を進めてい きたいと思っております。
② 令和8年3月市議会定例会議 教育委員会所管分の議案審議結果等について	
教育部次長	（教育委員会定例会提出事項 P 6～P 9、別冊②により説明）
立花委員	補正予算について、特別支援学校の光熱費が不足したというところ がありましたが、通常使用して不足したのか、何か特別な ことをして不足したのか。
教育総務課長	特段そのようなことを聞いておりません。通常の中で足りなくなりました。
③ 福島市青少年指導員の委嘱について	
生涯学習課長	（教育委員会定例会提出事項 P 10により説明）

3 その他
・今後の日程について
教育総務課長（教育委員会定例会提出事項 P 1 1 及び別冊③により説明）
①令和8年度 福島市総合教育会議の日程について
第1回 令和8年 7月 8日（水）10：00～11：30
第2回 令和8年10月14日（水）10：00～11：30
第3回 令和9年 2月26日（金）10：00～11：30
②次回の定例教育委員会の開催について
令和8年4月30日（木）午前10時00分から市役所複合棟
3階 313会議室
終了後に協議会を開催。
③今後の主な行事予定について
教育長・教育委員の出席が予定されている事業を周知。
④今後の教育委員会の開催について
6月定例会は5月27日（水）午前9時00分から市役所複合棟3階313
会議室で開催予定。
午前10時46分休議。
午前10時47分再開。以下、非公開。
4 その他（非公開）
・本市におけるいじめ重大事態等の現状について
学校教育課長（別冊資料により説明）

